

長野県廃棄物処理計画（第4期）案の概要

計画の趣旨

◆計画の位置付け

- ・廃棄物処理法に基づく法定計画
- ・循環型社会形成推進基本法を踏まえた計画

◆計画期間

平成28年度から32年度までの5年間

現状と課題

◆長野県の現状

1人1日当たりの一般廃棄物排出量全国順位(H26)

順位	都道府県	排出量
1位	長野県	838g
2位	沖縄県	844g
参考	全国平均	947g



区 分		20年度 実績値	26年度 実績値(※)
一般 廃棄物	総排出量	722千t	657千t
	1人1日当たり排出量	907g	838g
産業 廃棄物	総排出量	3,709千t	4,341千t

※産業廃棄物は、25年度実績値

◆課題等

- ・一般廃棄物の総排出量は、20年度実績からは減少しているが近年は横ばい傾向
- ・産業廃棄物の総排出量は、増加傾向

基本目標等

**「もったいない」を大切にして
ごみ減量日本一！
～美しい信州を次世代へ～**

長野県の美しく豊かな自然環境を守り、次世代に引き継いでいくため、「もったいない」の気持ちを大切にして、廃棄物の排出抑制、再使用等の取組を進め、ごみの減量日本一を常に目指します。

そのために

【2Rを意識した取組により、廃棄物の減量化を進めます。】

2R優先
優先順位①
リデュース：排出抑制

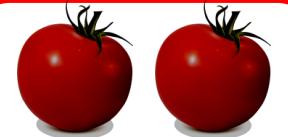
優先順位②
リユース：再使用

優先順位③
リサイクル：再生利用

◆数値目標

区 分		平成32年度 目標値
一般 廃棄物	総排出量	588千t
	1人1日当たり排出量	795g
産業 廃棄物	総排出量 ※	4,358千t

※総合5か年計画及び環境基本計画の達成目標を併せて変更



目標達成まで、
ミニトマト2個分！

取 組

< 県民総参加によるごみの減量化 >

～県民及び事業者が広く関わりながら行う県民運動～

【チャレンジ800ごみ減量推進事業】

全ての県民が参加するごみ減量の取組を広げ、しあわせ信州創造プランで掲げる「県民1人1日当たりの一般廃棄物の排出量800g以下」の達成を目指します。

◆チャレンジ800実行チームによる取組

◆レジ袋削減県民スクラム運動

- ・レジ袋削減協働アピール
- ・統一行動日のキャンペーンの実施

◆食べ残しを減らそう県民運動～e-プロジェクト～

- ・協力店の登録促進
- ・新たに、小売業者にも参加を呼びかけ
- ・宴会たべきりキャンペーンの実施

◆次世代への教育

- ・食品ロス削減の教材を作成し、環境教育を推進



《 排出抑制・再使用等の推進》

◆リデュース(排出抑制)～大切に使い、ごみを減らす～

- ・一般廃棄物処理の有料化の促進
- ・地域的特色に応じた市町村の取組の支援
- ・事業系一般廃棄物の減量化
オフィス商工会の仕組作りを研究 等
- ・レジ袋の削減
- ・食品ロスの削減
フードバンク活動への協力検討 等
- ・事業者の自主的な資源生産性向上等による排出抑制の推進
- ・環境マネジメントシステムの導入の推進
- ・長野県産業廃棄物3R実践協定の推進

◆リユース(再使用)～使えるものは繰り返し使って使う～

- ・リターナブル容器等のリユース
利用が図られる仕組づくりを県内企業と研究
- ・各主体(家庭、市町村、地域、職場)によるリユース

◆リサイクル(再生利用)～資源として再び利用する～

- ・法規制によるリサイクル
- ・インクカートリッジのリサイクル
- ・信州リサイクル製品の普及
- ・ごみの分別収集
分別収集やダンボールコンポストによる生ごみの削減、堆肥化
- ・廃棄物のエネルギー利用の推進

◆環境教育等の推進

◆取組指標

- ・一般廃棄物 最終処分量 58千t(H25年度) → 51千t(H32年度)
- ・産業廃棄物 最終処分量 81千t(H25年度) → 78千t(H32年度) 等

《適正処理の推進》

- ◆廃棄物の適正処理の確保
- ◆廃棄物の適正処理基盤の整備 等

《長期的取組》

- ◆ごみ処理の広域化
- ◆地域循環圏の形成 等